

0480 | 情報職業論

1 単位 (面接授業 1 単位)

津森暁史講師

授業の概要と目標

情報化社会という言葉が語られて久しいが、いまや情報化という文脈で語られるモノは、単なるメディア的な内容から、IoT などの形を持った製品とのコネクタまで、非常に多岐な存在となり、グローバルで見た場合、既に産業化したと言っても良いでしょう。

本講座では、職業（ビジネス）として、産業化した IT に関する事業事例を採り上げつつ、今後の日本が避け得ない、高齢化社会、あるいは人口減などの日本固有の社会現象と IT 産業がどのようにクロスしていくのか、またそれらに共通する特徴や、踏まえたビジネス事例など、出来るだけわかりやすく紹介、解説しつつ、皆さんと今後の IT 産業の在り方を、実際のプレゼンテーション作成を通して、この3日を通して自分の頭で考え抜き、今後を想定し表明するという、正解の無い作業実施に重きを置きたいと思います。

授業計画

- 第 1 日 今起きていること、これから起きるであろうこと
- ・世界の状況、日本の状況
 - ・IT 産業における事業事例
 - ・これからのこと
- 第 2 日 将来起き得る課題の設定、それをどう解決すべきなのか
- ・ビジョンとミッションについて
 - ・プレゼンテーション事例
 - ・テーマの発表（テーマ選定は概論ではなく、各論を想定しています）
 - ・プレゼンテーション準備（受講人数に応じて、個人 or グループワーク）
- 第 3 日 IT 産業を通じて、より良い未来を形作るための事業とは、事業責任者としてのグランドデザイン
- ・プレゼンテーション（個人／グループ／その他ケースを想定しております）
- ※作成資料は PC が使用できれば ppt / keynote、使用できなければレポート提出にて
- ・講評
 - ・発表を通しての振り返りプレスト（時間があれば）

成績評価の方法

出席および、最終日に行うプレゼンテーションの総合評価

その他

プレゼンテーション作成に際し、ノート PC を持参することを推奨しますが、大学の PC を貸し出すことも可能です。※貸与 PC は台数に限度があります。

本講座で学ぶ「情報職業」とは、情報化社会に直接関わる事業についての講座であり、その幅広い領域の事例に触れることと、今後について自分の頭で考え抜くことで、将来起き得る次の産業革命へ向けた準備の一つとなることを希望します。

プレゼンテーションスキルそのものの経験は問いませんが、単に自分が思うことではなく、事業責任者としての視座へ出来るだけ高めて考え抜いてほしいと思います。